

科目名: 簿記3級をめざす		科目コード	HH76	
科目主査: 依田 朗裕		担当講師: 依田 朗裕	単位	2
			配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要	
簿記のごく基本的な知識がある人(例えば本学の「簿記を基本から学ぶ」を履修しているなど)を対象にした、日商簿記検定3級の合格対策のための科目です。そのため、日商簿記3級合格のための受験対策用のテキストを用います。複式簿記の基礎的な考え方を一通り理解し、日商簿記3級の合格に必要な知識の習得を目指します。				
履修の前提となる科目	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	科目名:「簿記を基本から学ぶ」他、簿記の基礎科目		
履修の前提となる知識 その他特記事項	簿記の初歩を学んだことがある人が対象です。全くの初学者は「簿記を基本から学ぶ」などの初学者対象の簿記科目を先に履修してください。スクーリングの受講効果を高めるため、事前学習は重要です。必ず事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、講義中にチャットで質問できるようにしておきましょう。			
テキスト	『みんな欲しかった簿記の教科書 日商3級 商業簿記』滝澤 ななみ,TAC出版			
この科目の到達目標	①複式簿記の基本構造を理解し、日商簿記検定3級の範囲の仕訳が一通り作成できる。 ②試算表・精算表・財務諸表の特徴と仕組みを理解し、日商簿記3級の本試験問題を解く力が身についている。 ③その他日商簿記検定3級に合格するための必要な知識を習得している。			
成績評価の方法	1日目終了後の課題及び最終試験の得点に、講義中の取り組み姿勢(チャットの発言や質問の積極性)を加味して評価します。			
事後学習	今回のスクーリングで日商簿記3級合格に必要なインプットの6~7割程度はカバーできます。事後学習で足りないインプットを補った後、過去問題集などでアウトプットの訓練をすれば合格がみえてきますので、是非本試験にチャレンジしてください。アウトプット用に下記の問題集等を参考してください。なお、今回のスクーリングでは時間の関係により、CHAPTER03・04・06・07については一部につき、CHAPTER09については全体につき触れませんので、各自テキストで学習し、関連する問題を解いておいてください。			
事後学習の参考文献	『みんなが欲しかった 簿記の問題集 日商3級 商業簿記』滝沢 ななみ,TAC出版,最新版 『合格するための過去問題集 日商簿記3級 '〇年〇月検定対策』TAC簿記検定講座,TAC出版,最新版			
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓			